

ねんど じぎょうほうこく  
**2023年度 事業報告**  
しゃかいふくしほうじん かい  
社会福祉法人 かたるべ会

はじめに

コロナ禍、感染者数が減少することなく、昨年度とほぼ同数の感染者が発生しました。しかし、感染対策は多くの人たちに浸透していると考え、マスクの着用は必須、換気の徹底、混んでいる場所は避けるなど、政府の指針よりははやや厳しめの感染対策を実施することを条件に、行動制限は解除し、活動を展開してきました。

感染対策をした上での旅行や外出、販売活動やイベントへの参加、対面での職員研修など、一部リモートを使いながら、積極的な活動を展開してきました。

ただし、感染者数が減っているわけではありません。今後は更に感染対策の徹底させ、そのうえで、更なる積極的な活動を展開していきたいと考えています。

ねんど じぎょうほうこく  
**2023年度 事業報告のポイント**

1、**新型コロナウイルス**

- (1) 2023年度の感染者数は、社員入居者75名、職員37名、ご家族52名  
(2022年度の感染者数は、社員入居者56名、職員31名、ご家族102名)
- (2) 感染対策を更に徹底したうえで、行動制限は解除

2、**生きづらさ(壁)に対するサポートの強化**

- (1) ZOOMまたは対面による個別支援面談の実施
- (2) ZOOMまたは対面による職員面談実施
- (3) ZOOMまたは対面による職員研修実施
- (4) 月1回、必要に応じ嘱託医(精神科)による面談を実施

3、**充実した社会生活に向けた取り組み**

- (1) コロナ禍、ストレス緩和対策とコミュニケーション
- (2) 感染対策をしながら、積極的な活動を展開

4、**信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み**

- (1) 感染対策をしながらの交流活動

(2) 感染対策をしながらの実習などの実施

## 5、健康に関する取組

- (1) 健康的な食事
- (2) 健康的な運動
- (3) 心の安定に関する取り組み

## 6、SDGsの取組

すぐ出来ることから取り組む

(13)気候変動に具体的な対策を

- ① リサイクル、ごみの分別と削減、ペーパーレス化
- ② バイオマスゴミ袋などを使用する
- ③ 出来るだけ公共交通機関を利用(排気ガス削減)

(14)海の豊かさを守ろう

- ① マイバック、マイはし、マイボトルを使う
- ② レジ袋やプラスチック製品を使わない

(15)陸の豊かさも守ろう

- ① 毛皮や牙などを使った製品を買わない
- ② 飼えなくなったペットを野山に捨てない
- ③ 食肉、乳製品の購入を控える(買わない)

## 2023年度 第1かたるべ社事業報告

### 【目的】

日中活動を通じて充実した日々を送るとともに、一人ひとりが違いを認め合い、生きがいの持てる人生に向けた支援をする。

### 【事業内容】

生活介護事業 20名

## 【活動内容】

### 1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

#### (1) 感染対策の徹底

・作業室のレイアウト、密を避ける工夫、マスク着用、手指消毒、換気の徹底

#### (2) 感染対策を踏まえ、積極的な活動を展開する

・健康管理を徹底し、控えていた販売活動などを再開していく

⇒ 感染対策を意識しながら日々の活動を行った

### 2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

#### (1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

・本人、ご家族、関係者から深く話を聞く機会を作る

#### (2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

・自己実現ができるような環境を考えて支援を行う

#### (3) 個別支援会議、個別支援面談を深める

・自己実現に向けて繰り返し意見交換をし、考えを深めて実践していく

・状況に応じて、Zoom等のオンライン面談も行う

#### (4) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

・個別に関わる時間をつくり、信頼関係を築き、安心して過ごせるようにする

・ご家族同士の面談を必要に応じて行う

⇒ 年度初めに本人、ご家族、グループホーム職員と個別支援面談を行った

必要に応じて、ご家族と連絡を取り合い、コミュニケーションを深めた

### 3、充実した社会生活に向けた取り組み

#### (1) 本人が求める「社会的労働」を見極め、実現に向けて活動する

・受注作業

企業から受注する軽作業(シール貼り、梱包、封入、ポスティング作業等)

行政から受託する公園や歩道、市内の小中学校のプール、エアコン、窓清掃

鴨居自治会の回覧セッティング作業

⇒ 日々の活動として行った

・自主製品作り 販売活動

アロマ用品、キーホルダー、アクセサリ等の製作

じぎょうしょはんばい まつ ちいき はんばい  
事業所販売、お祭りなど地域のイベントで販売する

Twitter、Instagramを使用した広報活動をする

⇒ 歴史未来フェス、鴨居納涼盆踊り大会、鴨居自治会花火大会

ちがさきちゅうがっこう まつり ひがしほんごう まつり  
茅ヶ崎中学校ふれあい祭、東本郷ふるさと祭、みどりハートフルマーケット

えだしょうがっこう や かもい まつ はんばいかつどう おこな  
荏田小学校どんど焼き、鴨居さくら祭りで販売活動を行った

しゅうろうしえん しょくいきかいたく  
・就労支援、職域開拓

ボランティア活動、企業見学、実習、企業への応募等に取り組む

えんげき かいが しょくいきかいたく いしき かつどう  
演劇、絵画、イラスト、YouTuberなど職域開拓を意識した活動をする

⇒ 企業見学、外部でのボランティア活動に参加した

(2)「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

・個別のコミュニケーションを増やし、一人ひとりが活かされた活動をする

⇒ 外に出て体を動かす活動を取り入れた

個別や少人数で外に出てコミュニケーションをとった

#### 4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

(1)関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

・日頃から、地域の方と顔の見える関係を深めていく

・町内会の自治会活動に参加を検討していく

⇒ 地域行事、自治会回覧板作業、自治会班長の活動、美化活動等を通して

地域の方々と交流を深めた

ハロウィンの時期に近隣の保育園の皆さんと交流をした

#### 5、健康に関する取り組み

(1)健康的な食事

・健康を意識した食事の提案を行い、健康維持できるよう支援していく

(2)健康的な運動

・河川敷のウォーキングや清掃など体を動かす活動を日々取り入れていく

(3)心の安定に関する取り組み

・心の安定や、健康に関する意識を個別に取り入れる

⇒ 必要に応じて食事メニューに関する声かけを行った

体を動かす活動を取り入れた

## 6、SDGsの取組

- ・ゴミの分別、バイオマスのゴミ袋を使用
  - ・マイ箸、マイバック、マイボトルを使用
  - ・自主製品制作の時、環境に配慮した製品作りを意識する
  - ・フードバンク、フードドライブの活動をする
- ⇒ 日々の活動の中で意識した  
地区センター、イオン鴨居店でのフードバンクに食材を提供した

## 7、「日程表」

- 8:55 ラジオ体操
- 9:00 朝礼
- 10:30 10分休憩
- 10:40 作業再開
- 12:00 昼食
- 13:00 作業開始
- 15:00 20分休憩
- 15:20 作業再開
- 16:15 作業終了・清掃
- 16:30 終礼
- 17:00 解散

## 2023年度 第2かたるべ社事業報告

### 【目的】

一人ひとりの強みを活かし、充実した社会的労働の追求と関係機関との信頼関係(相互理解)を深める。また、生きづらさに注目し、心の安定と楽しく生きがいの持てる人生となるように支援する。

### 【事業内容】

生活介護事業 25名 ⇒ (現員20名)  
就労継続支援B型事業 12名 ⇒ (現員10.5名)

かつどうないよう  
【活動内容】

1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

- ・外部活動などを積極的に取り入れ、事業所内の3密の予防に努める ⇒ 実施
- ・オンラインサービスを活用して接触の機会を減らす ⇒ 実施
- ・マスク、パーテーション等を利用し飛沫感染の防止に努める ⇒ 実施
- ・事業所内の換気 ⇒ 実施
- ・消毒やアプリを利用した検温確認など必要な感染対策の徹底 ⇒ 実施

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

- ・個別支援面談でご本人やご家族の抱える「生きづらさ」を確認し必要な支援を明らかにする ⇒ 全員実施
- ・ご本人を取り巻く状況を理解し、楽しく生き生きと暮らせる環境を模索、提案していく ⇒ 実施

3、充実した社会生活に向けた取り組み

- ・本人の強みを活かした「社会的労働」を受注・清掃・販売を中心にして追求していく

【受注】

年間を通じ安定して受注作業があり活動出来ていた

【清掃】

○学校関係

- ・プール清掃… 十日市場中学校 都田西小学校 東鴨居中学校 鴨居小学校
- ・三保配水幹線用地清掃作業委託
- ・横浜市綱島東小学校カーテン洗濯・乾燥作業
- ・横浜市立荏田西小学校換気扇清掃
- ・横浜市立学校軽作業委託(消毒作業等)
- ・川井浄水場構内樹木のナンバリング作業委託

○行政関係

- ・緑区 旭区(公園清掃)
- ・みなとみらい清掃(歩道清掃)
- ・緑区 青葉区(歩道清掃)

## 【販売】14カ所

加賀原地域ケアプラザ・歴史博物館・つづきっこまつり・鴨居盆踊り

放課後デイワークショップ・神整商・神整振フェスティバル・茅ヶ崎中学・ノースポート

モール・神奈川区民まつり・東本郷ふるさとまつり・ふれあいの丘まつり

緑区役所ハートフルマーケット・荏田小学校どんと焼き・都田小学校

## 【その他】

・横浜市立緑が丘中学校(テニスボール穴あけ、洗浄作業)

・アリフト(メール便配達作業)

・加賀原地域ケアプラザ(ポスティング作業)

・横浜市立十日市場中学校(ホールワックスがけ)

・コロナ禍においても、労働の保証を意識する動きを継続する

新規開拓⇒横浜市水道局 加賀原地域ケアプラザ 横浜市みどりおkachūがっこう

都筑区港北区健康福祉局 横浜市綱島東小学校 横浜市立荏田小学校

横浜市水道局 (株)リンクプロデュース

・外部活動にも積極的に取り組み、より充実した労働環境と選択肢の提示を目指す

⇒ 実施

## 4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

・第2かたるべ社で取り組んでいる社会的労働を通じ、地域を含む様々な人や機関と

信頼関係(相互理解)を深めていく

⇒ 緑区内小中学校事務連携組織合同会議に参加し、第2かたるべ社の取り組んで

きた事業を説明し意見交換を行った

・取引先との相互理解が深まる活動を継続していく

⇒ 山内小学校の創立150周年記念式典に参加

・地域にあるプロレス団体(大日本プロレス)と一緒にコロナ禍でも行う事ができる

活動を模索する。

⇒ 8月にお中元、12月にお歳暮を渡し、次年度の活動を相談した

・YouTube や Instagram を活用し、活動内容や取り組みを発信する

⇒ 動画投稿回数7回

## 5、健康に関する取り組み

### ・健康的な食事

健康を意識し、栄養のバランスを意識した食事の提案を行う ⇒ 実施

### ・健康的な運動

ウォーキングなど運動を意識した取り組みや支援を行う ⇒ 実施

外での清掃活動に積極的に取り組む ⇒ 実施

### ・心の安定に関する取り組み

### ・健康活動 ⇒ 実施

〇コロナによる心の健康に注意し、心身の健康維持に必要と思われる

取り組みを実行する ⇒ 実施

〇各々の環境や状況の違いに配慮し、必要なサポートに取り組む ⇒ 実施

## 6、SDGsの取り組み

### ・マイボトルやマイバッグ、マイ箸など使用の推奨 ⇒ 実施

### ・外部活動で可能な限り「バイオマスゴミ袋」を使用 ⇒ 実施

### ・社員職員ともに「節電」を意識した取り組み ⇒ 実施

# 2023年度 第3かたるベ社(居場所作り支援)事業報告

## 【目的】

引きこもりがちな方、社会との接点が少ない方、一般的な福祉の環境に抵抗がある方など個々の状況に応じて対応を行うことで、それぞれの居場所ができること。

## 【事業内容】

就労継続支援B型事業 20名

## 【活動内容】

### 1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

#### (1)感染対策の徹底

・手指消毒、手洗いうがい、マスク着用の声かけ

・短期入所職員と連携し建物内を消毒、定期的に室内換気をする

⇒ 短期入所職員と連携し手が触れる箇所(スイッチ、手すり、ドアノブ)を重点的に消毒しました

・出勤前と午後に検温し、リーバー(健康観察アプリ)を入力する

・社員出勤時は玄関口で検温と健康観察を行う

⇒ マスク着用の声かけ、建物内の換気・消毒を徹底しました

社員・職員の日々の検温や健康状態はリーバー(健康観察アプリ)で確認しました

## 2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

・個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにし本人、ご家族、職員で必要な支援を  
考えて話し合い実践する

⇒ ご本人、ご家族の「生きづらさ(壁)」を明らかにし、話し合いを深めました

・個別支援会議、個別支援面談を深め、本人の気持ちに寄り添った支援を行う

・引きこもり、暴力、お金に対する拘り、精神的不安定、行動制限等の生きづらさがある  
人を中心に関係者で集まり、その方に合った「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を  
模索する

⇒ 面談にて生きづらさ(壁)が明らかになった時、ご本人とご家族から個別にお話を  
聴く機会を増やし、ご本人の気持ちに寄り添った支援を行いました

## 3、充実した社会生活に向けた取り組み

・生活面や精神面が原因で通所が安定しない方の対応を模索し、通所のきっかけを  
作る

・個々の価値観や環境の違いを認め合い、安心して活躍できる居場所を作り、その方  
に合った「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索する

⇒ 出勤が安定しない方に対して、電話で出勤を促し、ご自宅へ訪問してお話を聴  
く等、困りごとを一緒に考え、通所のきっかけを作りました

## 4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

・一般家庭からの不用品回収や近隣企業からの受注仕事を通じて地域との信頼関係  
(相互理解)を深める

・美化活動(庭の草むしり)や地域清掃を通じて、地域で暮らされている方との信頼  
関係(相互理解)を深める

⇒ 企業の美化活動、受注仕事、地域住民のリサイクル品の回収依頼を通じて相互理解を深められました

・関係機関と連携し地域で居場所がない方の実習や新規受け入れ態勢を作る

⇒ 高校3年生の前期実習を受けましたが通所には繋がりませんでした

・様々な機関や支援者との信頼関係(相互理解)を深める

⇒ 青葉区ボランティアセンターの「青葉ふれあい農園」のボランティアに参加し、他事業所のボランティアさんや農家の方々との交流を深めました

⇒ 自立支援協議会を通じて様々な機関と情報交換できました

## 5、健康に関する取組

・健康面を意識したバランスの取れた食事を提案する

・一人暮らしの方に健康面と衛生面の支援

⇒ 一人暮らしの方に健康面と衛生面のアドバイスをを行いました

・活動にスポーツ活動や川治いの散歩を取り入れ、心の安定を図る

⇒ 気持ちの問題で活動に入られない方と一緒に散歩をしながらゴミ拾いを行いました

⇒ 活動の合間にスポーツ活動を行いました

## 6、SDGSの取組

・ご家庭でなくなった衣類や雑貨を回収し、リサイクル品として販売する

⇒ リサイクル品の回収は行いましたが、販売活動は行えませんでした

・古紙からリサイクル品販売用の値札やメッセージカードを作る

⇒ リサイクル品販売用の値札を再生紙から作りました

・マイ箸、マイボトル、エコバックを使用する

⇒ マイボトル、エコバックの使用をすすめました

・ゴミを正しく分別する

⇒ 分別は徹底して取り組みました

・ゴミ袋にバイオマスポリ袋を使用する

⇒ バイオマスポリエチレン 25%入りのごみ袋を使用しました

## 7、「にっぺいひょう日程表」

10:00	<small>かつどう</small> 活動
12:00	<small>ちゆうしょく</small> 昼食
13:00	<small>そうじ</small> 掃除
13:30	<small>かつどう</small> 活動
15:00	<small>きゆうけい</small> 休憩
15:20	<small>かつどう</small> 活動
16:30	<small>そうじ</small> 掃除
16:50	ミーティング
17:00	<small>かいさん</small> 解散

## 2023<sup>ねんど</sup>年度 じぎょうほうこくジャスミン事業報告

### 【もく てき目的】

しゃいん社員と<sup>かぞく</sup>ご家族と深くコミュニケーションを取って、<sup>ひてい</sup>否定しない、しゃいん社員と<sup>かぞく</sup>ご家族のことを受け入れ、<sup>しえん</sup>支援していく。また<sup>あたら</sup>新しいチャレンジにより、<sup>いっぽんしゃかい</sup>一般社会と<sup>しょうがいしゃ</sup>障害者の<sup>そうごりかい</sup>相互理解を<sup>ふか</sup>深めていく。

### 【じぎょうないよう事業内容】

しゅうろうけいぞくしえん就労継続支援B型事業 <sup>めい</sup>26名

### 【かつどうないよう活動内容】

#### 1、<sup>しんがた</sup>新型コロナウイルス<sup>かんせんよぼう</sup>感染予防<sup>てつてい</sup>の徹底

(1) <sup>きより</sup>距離を置いて<sup>き</sup>気を付けて<sup>さぎょう</sup>作業をする

(2) <sup>ちゃくよう</sup>マスク着用と<sup>かんき</sup>換気

(3) <sup>しゅししょうどく</sup>手指消毒、<sup>しょうどく</sup>トイレ消毒、<sup>くるま</sup>車の消毒、<sup>まいにち</sup>毎日<sup>おこな</sup>に行う

(4) <sup>けんおん</sup>検温など <sup>けんこうかんり</sup>健康管理<sup>てつてい</sup>の徹底

⇒ <sup>まいにちしゅつきん</sup>毎日出勤する前 <sup>まえ</sup>リーバーにより<sup>たいおん</sup>体温<sup>かくにん</sup>の確認をする

<sup>いじょう</sup>以上のことを引き続き<sup>ひ</sup>行<sup>つづ</sup>います <sup>おこな</sup>

## 2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

・個別支援面談でご本人とご家族の生きづらさを気づき、そのためご本人ご家族と職員と連携して、支援していく

・職員と社員さんと一緒に新しいことをチャレンジにより楽しく生き生きと暮らせる環境を模索する

⇒ 信頼関係を作り、家族を支援している②ジャスミン社員さん一人ずつが好きなおとを支援します

## 3、充実した社会生活に向けた取り組み

### ①販売活動

・販売の形式

ジャスミン店頭販売、わくわく広場、yahoo のネットショップ、夢カフェでの販売、養護学校の販売、老人ホーム販売、グループホーム、センター北駅の販売

⇒ ・10月にジャスミンの1階でジャスミンの販売店をオープンしました

・わくわく広場に毎週納品しています

・支援学校に月に三回出張販売している

・販売商品

月餅 パイケーキ、クルミクッキー

⇒ ・杏仁豆腐 マンゴープリン復活し、わくわく広場とジャスミン販売店で販売しています

・ベジタリアン料理の開発している

・オムニミートのから揚げ、コロケ、カレーマン、餃子をつくっている

### ②清掃活動

・地域で清掃活動を引き続き行います

⇒ 令和5年もクリーンタウン横浜事業センター南清掃業務の契約した

## 4、信頼関係(相互理解)の持てる社会にむけた取り組み

・全員参加の喜劇を作る、YouTube にアップする

・社員さんありのままの活動を YouTube にアップする

⇒ ・喜劇を作っている途中ですが完成したら YouTube にアップする予定がある

・社員さんの活動はInstagramに送信している

## 5、健康に関する取り組み

ベジタリアン料理を毎日を実施する

⇒ 毎日ベジタリアン料理を作り、食べる

・太極拳:毎日午前と午後練習してきた

11月11日に港北スポーツセンターで港北区太極拳大会で発表する予定

・音楽活動 週に一回にウクレレの演奏する

・森林浴

新しく企画の花咲くクラブの活動:社員さんが企画し、地域で障害者同士交流するイベントを実施している

## 6、SDGS への取り組み

・食材を大切に使う

お野菜を丸ごと使う 外側と芯をミキサーしてスープやカレーに使う

食器を洗う時、水を貯めて洗う

・古タオルで雑巾を作る 古着で買い物袋を作ってお客さんに提供する

⇒ 古いジーンズで買い物袋やポーチ、巾着を作った

## 2023年度 うれしの事業報告

### 【目的】

個々の状況に応じ、社会的労働を中心とした様々な活動を行う中で、心の安定と充実した生活、そして生きがいの持てる人生となるよう支援する。

### 【事業内容】

生活介護事業 30名

就労継続支援B型事業 15名

就労移行支援事業 6名

## かつどうないよう 【活動内容】

### 1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

#### (1) 感染対策の徹底

けんおん しょうどく きほんてき かんせんたいさく けんこうかんり てつてい  
・検温、消毒、マスクなど基本的な感染対策をし、健康管理の徹底

しつない くふう かんき てつてい  
・室内のレイアウトを工夫し、換気を徹底する

#### (2) 感染対策を踏まえ、積極的な活動を展開する

かんせんたいさく けんこうかんり てつてい えきまえ はんばいかつどう さんか  
・感染対策、健康管理を徹底し、駅前やイベントでの販売活動に参加する

じょうきょう おう かつよう かつどう さんか きかい ふ  
・状況に応じて、Zoom を活用し、活動に参加する機会を増やす

かんせんたいさく たいめん かいぎ めんだん おこな じょうきょう かつよう  
・感染対策をして対面の会議や面談を行い、状況によって Zoom も活用する

⇒ 感染対策を継続しながら、活動する機会が増えた

### 2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

#### (1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

ほんにん かぞく かんけいしゃ はなし きかい せつぎよくてき  
・本人、ご家族、関係者と話をする機会を積極的につくっていく

#### (2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

じ こじつげん かんきょう しんらいかんけい きず しえん おこな  
・自己実現ができるような環境、信頼関係を築いて支援を行う

#### (3) 個別支援会議、個別支援面談を深める

く かせ いけんこうかん つね かんが つづ じっせん  
・繰り返し意見交換をし、常に考え続けて実践していく

じょうきょう おう どう めんだん おこな  
・状況に応じて、Zoom等のオンライン面談も行う

#### (4) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

ひとり つよ ちゅうもく ほめ あ おこな  
・一人ひとりの強みに注目し、褒め合うミーティングを行う(オープンダイアログ)

⇒ 面談も Zoom は継続しながら、対面でする機会が増えた

⇒ 新しくうれしのに入った方は面談を複数回した方もいる

⇒ 面談を通して本人だけではなくご家族との関係も深まった

### 3、充実した社会生活に向けた取り組み

#### (1) 本人が求める「社会的労働」を見極め、実現に向けて活動する

ぜんいん てきざいてきしょ しごと さんか しえん  
・全員が適材適所で仕事に参加できるように支援する

かつどうないよう  
・活動内容

しょくひんせいぞう かし せいまい  
食品製造(ランチ、お菓子づくり、精米)

はんばいかつどう かもいえき かわわちようえき しえんがっこうほか  
販売活動(鴨居駅、川和町駅、スポーツセンター、あおば支援学校他)

さぎょう しょくひんこんぼうようひんせいぞう かみ じゅちゅうさぎょうほか  
作業(食品梱包用品製造、紙すき、受注作業他)

じしゅせいひん あ しょうひんせいぞう  
自主製品(ストラップ、ハロウィンやクリスマスなどイベントに合わせた商品製造)

かつよう こうほうかつどう  
ツイッターやインスタグラムを活用した広報活動

しゅうしょく む かつどう きぎょうけんがく じっしゅう おうぼ  
就職に向けた活動(企業見学、実習、応募)

⇒ はんばいかつどう がいぶ さんか きかい ふ  
⇒ 販売活動や外部のイベントに参加する機会は増えた

⇒ ぜんいん てきざいてきしょ かつどう もさくちゅう  
⇒ 全員の適材適所での活動は模索中

⇒ はんばいばしょ かいたく かつどう せんたくし ひろ と く  
⇒ 販売場所の開拓や活動の選択肢を広げる取り組みをした

(2) たの い い き く かんきょう もさく き ひら  
「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

・YouTuber など、ひとりひとりが活かされた活動

・アートや表現活動など自由な発想を大切にする

⇒ ひとりひとりが活かされる活動、自由な表現活動は模索中

⇒ どうがさつえい えいぞうかんしょう ほんにん たの かつどう  
⇒ 動画撮影や映像鑑賞、ドライブなど本人が楽しめる活動にチャレンジした

#### 4、しんらいかんけい そうごりかい も しゃかい む と く 4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

(1) かんけいきかん さまざま きかん ひと しんらいかんけい そうごりかい ふか  
(1) 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

・かわわちょうないかい せつきよくてき かか しんらいかんけい そうごりかい ふか  
・川和町内会と積極的に関わり、信頼関係(相互理解)を深める

・プロバスケットボールチーム 横濱ビー・コルセアーズと連携し、相互理解を深める

⇒ かわわちょうまつ すうねん かいさい ちょうないかい ちいき こうりゅう ふたたび  
⇒ 川和町祭りが数年ぶりに開催され、町内会など地域との交流も再び  
始まった

⇒ がつ よこはま しあい しょうたい そうごりかい  
⇒ 3月には横浜ビー・コルセアーズの試合に招待していただき、相互理解を  
深めた

#### 5、けんこう かん と く 5、健康に関する取り組み

(1) けんこうてき しょくじ  
(1) 健康的な食事

・まいにち えいよう しょくじ ていきょう  
・毎日、栄養のバランスのとれた食事を提供する

・えいよう しょくじ かし かいほつ  
・栄養のバランスのとれた食事とお菓子のメニュー開発

⇒ まいにち かいほつ ていきょう  
⇒ ほぼ毎日うれしのランチとお菓子の提供をした

⇒ はんばいかつどう はんぎょう がつ かし ていきょう ちゅうし  
⇒ 販売活動の反響もあり、3月からはお菓子の提供を中止した

(2) けんこうてき うんどう  
(2) 健康的な運動

・たいそう うんどう かせんじき からだ うご かつどう ひびと い  
・体操や運動、河川敷のウォーキングなど体を動かす活動を日々取り入れる

⇒ てんこう たいちょう はいりよ と く  
⇒ 天候や体調に配慮しながら、ウォーキングに取り組んだ

⇒ 雨の日はドライブで外出をし、リフレッシュにもなりこころの健康も意識した

### (3) 心の安定に関する取り組み

・音楽や瞑想などを日々取り入れる

⇒ 音楽や瞑想などを取り入れ、心を落ち着かせる時間をつくった

## 6、SDGsの取組

・ゴミの分別と削減を意識する、バイオマスのゴミ袋の使用

・マイ箸、マイバック、マイボトルを使う

⇒ ゴミ箱を整理し、ゴミの分別を意識することを心がけた

⇒ バイオマスのゴミ袋、マイ箸、マイボトルなどは継続

・地元の東屋豆腐店から積極的に食材を仕入れる(国産大豆使用)

・食肉、乳製品の購入を減らす(牛乳→豆乳など)

・オムニミートなど代替肉を使用したメニューを取り入れる(ジャスミンと連携)

⇒ 食材購入に関しても継続しておこなっている

・ペーパーレス化(お知らせや資料はデータで配布、共有)

⇒ LINE ワークスを活用してデータで情報共有をした

## 7、「日程表」

9:00 ミーティング

9:20 かたるべ体操

9:30 作業開始

12:00 昼食

13:00 作業開始

15:00 おやつ → 3月からは中止

15:20 瞑想、オープンダイアローグ

16:00 解散

# 2023年度 うれしの放課後等デイサービス事業報告

## 【目的】

学校在学中の児童・生徒に対して、放課後や長期休み中において個々の特性に応じた支援を行い、心豊かに成長や発達を育むお手伝いをすることで、子供とご家族が笑顔になれる場、そして生きがいの持てる人生となるよう支援する。

## 【事業内容】

放課後等デイサービス(障害児通所支援事業)

定員10名/日

登録数16名(2月1名退所 3月3名卒業)

対象者:小学校から高校生までの放課後等デイサービス受給者証所持者

地域:横浜市全域

## 【活動内容】

### 1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

#### (1) 感染対策の徹底

・マスク、手洗い、消毒、検温、換気を促す

#### (2) 感染対策を踏まえ、積極的な活動を展開する

・感染対策をして外での活動も充実させる

⇒ 新型コロナウイルスが5類に移行したが引き続きマスク着用等の感染対策を行った

⇒ 積極的に活動を実施したが、活動が原因で新型コロナウイルスに感染するケースはなかった

### 2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

#### (1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

・ご本人の生きづらさ(壁)だけでなく家族の生きづらさ(壁)も明らかにする

#### (2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

・身体拘束やルールで行動の制限が必要な場合は個別支援計画に明記するが、それに替わる支援を常に模索する替わる

### (3) 個別支援会議、個別支援面談を深める

- ・児童・生徒およびご家族との信頼関係を深める
- ・個別支援計画にて、児童・生徒の将来展望を深める
- ・適切な親子関係に向けた支援(親子の信頼関係を深める)
- ・将来展望を見据えた見学と研修は感染予防に配慮し行う  
(日中活動施設、グループホーム、障害者雇用)
- ・将来展望を見据え、短期入所との連携

### (4) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

- ・生き生きと暮らせる将来展望を描く
- ⇒ 本人、家族の生きづらさについてお伺いした
- ⇒ 職員間で家族の生きづらさについて共有し、サポートの強化を図った
- ⇒ 積極的な活動とプログラムの充実化により、ご家族も新しい発見に繋がった  
というお話も聴けた

## 3、「放課後等」の充実に向けた取り組み

### (1) 個々の特性に応じた支援

- ・各自の特性と興味に応じたプログラムの提供(運動、音楽、ゲーム、工作、アート、個別対応など)

### (2) 社会適応支援

- ・プログラムを通して人間関係、ルールを守ることの大切さを育む

### (3) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

- ・家庭でも落ち着いて過ごせるよう充実したプログラムを提供する
- ⇒ 各自の特性や興味に合うよう職員で話し合いプログラムの充実化を図った
- ⇒ 充実化させたプログラムを実践するため積極的に外の活動を行った

## 4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

### (1) 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

- ・関係機関と情報共有、支援を補い合いながら信頼関係を深める

### (2) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

- ・ご家族の生きづらさ(壁)について各関係機関で出来ることを模索する
- ⇒ 関係機関でカンファレンスを行い、家族の生きづらさについて共有した

## 5、健康に関する取組

### (1) 健康的な食事

- ・栄養バランスのとれたおやつを提供

### (2) 健康的な運動

- ・プログラムの中で適度な運動を行う

### (3) 心の安定に関する取り組み

- ・心の安定を図るためオープンダイアログを行う

## 6、SDGsの取組

- ・工作で出た廃材も再利用できるか模索する
- ・違いを認め合いいじめや差別をしない

## 7、「日程」

- ・送迎(学校または自宅からうれしの)
- ・個別の対話(連絡帳チェック)
- ・手洗い、おやつ
- ・各プログラムに分かれて活動
- ・帰りの会(オープンダイアログ)
- ・送迎(うれしのから自宅)
- ・営業日時 月曜日から金曜日 9:00~17:00

## 2023年度 ひまわり工房事業報告

### 【目的】

各自が生きがいをもって社会生活に参加できる様、一人ひとりの強みに注目する。  
違いを認め合う文化をつくりだせる様支援する。

### 【事業内容】

生活介護事業 定員20名 ⇒ 現在10名

## 【活動内容】

### 1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

#### (1)「密集」「密接」「密閉」を避ける

- ・作業室のレイアウトを向き合わないようにする ⇒ 壁に向かって作業
- ・食事の時もレイアウトを向き合わないようにする ⇒ 壁に向かって食事

#### (2)マスクの着用を徹底、換気

- ・活動時、送迎時でも出来る人はマスク着用 ⇒ 実施

#### (3)手指消毒、ドアノブなど、手に触れる部分の消毒 ⇒ 実施

- ・社員、職員、来客の手指消毒、玄関口、ドア等の消毒徹底 ⇒ 実施

#### (4)検温など、健康管理の徹底

- ・健康観察アプリ等を使用して、体温確認(出勤前、出勤時、午後) ⇒ 実施

### 2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

#### (1)個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

- ・本人、ご家族、関係者から深く話を聞く機会をつくっていく ⇒ 全員実施

#### (2)個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

- ・生きづらさに対して必要な援助、環境を考えて支援計画を作成する  
⇒ 実施しているが、充分ではない

#### (3)個別支援会議、個別支援面談を深める

- ・本人が自分の考えを表せるよう選択肢の提示など工夫をして、考えを深めて実践していく ⇒ 数名に関し実施した(城づくり、デジアートなど)
- ・状況に応じてZoom等のオンライン面談も行う

#### (4)「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

- ・社員、ご家族、職員に関わらず信頼関係を築き、安心して過ごせるようにする  
⇒ 意識しているが充分ではない

- ・全体ミーティングを行い事業所でできることを考えていく

⇒ 充分ではない

- ・主体的な活動ができるよう、個人個人の役割を明確にする ⇒ 充分ではない

- ・一人ひとりが活躍できるような活動を模索する

⇒ 外出など個別支援に取り組んだ

- ・家族会を開く(コロナの状況次第で少人数で分ける、リモート等)

⇒ 実施できていない

### 3、充実した社会生活に向けた取り組み

(1) 本人が求める「社会的労働」を見極め、実現に向けて活動する

・アート活動

絵や創作品の作成 ⇒ 毎日実施

作品の販売、企業や公共機関へのレンタル ⇒ 実施できていない

イメージングを広げるため、自然の中で写生や作品の素材集め等

⇒ 実施できていない

SDGs を意識した廃棄物からのアート作品作成、海や河原での素材集め作品

販売会やワークショップ等を行い、アートを通して社会から必要性を実感出来るよ

うな活動を考えていく ⇒ 実施しているが充分ではない

(2) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

・一人ひとりが活かされた活動をする ⇒ 数名実施した

・一人ひとりが満足感をもって過ごせる一日の活動を目指します

⇒ 本人が取り組みたい活動を行った(最も重要であると考えている)

⇒ デジタルアート、写真、絵画、外出、城など

### 4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

(1) 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

・川和町内会との信頼関係(相互理解)を深める

⇒ 川和町祭り、川和アート展、川和駅販売、東京芸大イベント参加など実施

・地域の方と顔の見える関係を深めていく

⇒ 町内会の活動には積極的に参加している

・関係機関との信頼関係(相互理解)を深める

### 5、健康に関する取り組み

(1) 健康的な食事

・毎日、栄養のバランスのとれた食事、おやつを提供する ⇒ うれしのランチ

(2) 健康的な運動

・体操や屋外での活動を取り入れる ⇒ ウォーキング

### (3) 心の安定に関する取り組み

- ・瞑想やオープンダイアログを行う ⇒ 毎日実施

## 6、SDGsの取組 ⇒ 実施できている

- ・ゴミの分別(業者に確認し、家庭ごみと事業ごみの違いを理解して、取り組む)
- ・バイオマスのゴミ袋使用
- ・マイ箸、マイバック、マイボトル
- ・廃棄物からのアート制作

## 2023年度 共同生活援助事業計画

### 【目的】

入居者一人ひとりの意思、自主性を尊重し、入居者の立場にたった質の高い援助と心身の健康保持に努め、生きがいの持てる人生となるよう支援する。

個々の状況に応じ、精神的、経済的自立を支援する。

様々な状況の中でも「障がいがあるなしに関わらず普通に暮らせる社会」「誰もが楽しく、生き生きと暮らせる社会」を切り開く。

### 【事業内容】

共同生活援助

### ・各ホーム定員

主たる事業所 ハイツマモル 7ホーム 定員合計41名

グリーンハイツ6名、アムール6名、ハイツマモル5名、アローズ6名、フレンズ6名、ビット6名、ルークス6名

主たる事業所 セルフィッシュ 7ホーム 定員合計38名

セルフィッシュ6名、ビーンズ6名、フォレスト6名、第2ビーンズ2名、アポロ6名、フラット6名、リーフ6名

主たる事業所 ジャスパー 3ホーム 定員合計17名

ジャスパー6名、マモルハウス5名、スカイ6名

3事業所17ホーム 合計96名

## 【活動内容】

### 1、新型コロナウイルス、感染対策と積極的な活動

#### (1) 感染対策の徹底

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、検温や手洗いの徹底、ソーシャルディスタンスの声掛け、換気、ホーム内の消毒の実施
- ・食事は、時間をずらし、向かい合わないように対応、アクリル板の設置
- ・通院に関しては、遠隔診療や薬の受け取りなど職員が代行する
- ・検査等で通院が必要な際は病院内での滞在時間が短くなるよう考慮し、アルコールを持参しながら感染対策を徹底する

#### (2) 感染対策を踏まえ、積極的な活動を展開する

- ・リモートを利用した活動や地域、時間、人数を考慮した行事や活動への参加
- ⇒感染対策を継続し活動を行った

### 2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

#### (1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

- ・社会生活をする上で、障碍となることをあらかじめ明らかにする

#### (2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

- ・行動規制やルールではない、自己実現に向けた支援について熟慮する

#### (3) 個別支援会議、個別支援面談を深める

- ・日頃よりコミュニケーションを図り信頼関係を築く
- ・個別支援会議では本人の立場に立って、本人の意思を尊重しながら行う
- ・入居者一人ひとりの自己実現に向け、試行錯誤を繰り返す

#### (4) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

- ・障がいのあるなしに関わらず、違いを認め合い、相互理解を深め合えるような雰囲気作り
- ・コロナ禍でリモート、ネット環境などを利用した余暇の充実
- ⇒ZOOM等を利用し面談等を行った

### 3、充実した社会生活に向けた取組

#### (1) 生活

- ・グループホーム、一人暮らし、結婚など、普通の生活を実現(基本理念)

- ・グループホームは、地域の自治会活動に積極的に関わり、相互理解を深める
- ・障害がある無しに関わらず、相互に助け合える地域社会実現に向け活動

## (2) 余暇

- ・自分の意思で、自分の時間を自由に過ごせる環境を実現(基本理念)
- ・地域の中で、普通に利用できる余暇環境と人間関係を実現
- ・余暇のコーディネートを行う
- ・社会資源の提示、ガイドヘルパー派遣の連絡調整を行う

コロナウィルスの感染対策を考慮しつつ入居者が日々充実した生活がおくれるよう模索する

ガイドヘルパー利用で近隣の散歩や買い物、リモートでイベント鑑賞など

## (3) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

- ・それぞれの違いを認め合い尊重し合い個々に合った環境を検討していく
- ⇒ガイドヘルパーの私的契約等も行い、個人に合わせた余暇活動に力を入れ行った

## 4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取組

### (1) 関係機関との信頼関係(相互理解)を深める

より細やかな連携を密に取り関係性を深め各種機関との共有を図る

### (2) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

コロナウィルス感染症対策として、地域に関しても行事や清掃活動等が中止になっていることも多々あるが地域活動等行われる際には時間や場所、人数等を考慮しながら積極的に社会参加をする

## 5、健康に関する取り組み

### (1) 健康的な食事

- ・栄養バランスのとれた食事をサポートする
- ・職員は定期的に食品衛生責任者講習を受ける

### (2) 健康的な運動

- ・余暇の過ごし方を意識する

### (3) 心の安定に関する取り組み

- ・個別の相談をしっかりと聞けるように一人ひとりの時間を大切にする
  - ・リラックス出来る環境作りを行う
- ⇒五穀米等、日々の生活から取り入れ健康メニューを心掛けた

## 6、SDGS の取り組み

- ・節水や節電、リサイクル、ゴミを少なくすることなどホーム内で取り組めることを入居者と一緒に考えていく
  - ・マイボトル、マイ箸、エコバックを利用する
  - ・ゴミの分別の徹底・ゴミの捨て方に気を付ける(生ごみ、お茶のパック等は水分をよく切ってから捨てるなど)
  - ・食材を無駄にしないように購入する・地元産のものや環境に優しい食材を選ば
  - ・バイオマスゴミ袋を活用する
- ⇒エコバックの利用や節電等を出来ることから継続的にこなった

## 7、緊急時の対応

- ・入居者の生命、安全を第一に考えた速やかな対応をとれるよう AED、防災、避難訓練を定期的に行う
  - ・定期的に防災用品を確認し急時に備える
- ⇒避難訓練、防災備品の点検の実施

## 8、一人暮らしへ移行した人への支援

- ・金銭管理方法、買い物、手続き、食事、健康面、近隣との関係等必要に応じた生活の援助を行う
  - ・コロナウィルス感染症対策として、対面ではなく電話で状況を確認
- 必要に応じて対面支援を行う

# 2023年度 短期入所事業報告

## 【目的】

個々の状況やご家族の状況に配慮したレスパイトを目的とし、個々に応じてその後の

# 生活基盤の構築も目的とする

## 【活動内容】

### 1、新型コロナウイルス、感染予防の徹底

(1) 密を避ける

(2) マスクの着用を徹底、換気

(3) 手指消毒、ドアノブなど、手に触れる部分の消毒

(4) 定時検温など、健康管理の徹底

(5) 利用前の健康情報確認

(6) 食事は時間をずらすか各居室にて食する

⇒ 5類になった現在も引き続いて感染対策を行いました

### 2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

特に外部の方は個別面談で各自の「生きづらさ(壁)」を明らかにする

(2) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

所属先の支援計画に記載されている、生きづらさに対する支援を深める

(3) 個別支援会議、個別支援面談を深める

利用する人の事業所の個別支援計画を確認する

定期的にご利用する人は、所属事業所で行われる個別支援会議等に参加させてもらう

(4) 「楽しく生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

特に利用する回数の少ない方はまず本人を良く知る事から始める

### 3、充実した社会生活に向けた取り組み

(1) 本人が求める「生活」を見極め、実現に向けて活動する

一時的に泊る場所ではあるが、家から離れた生活を経験してもらう事で本人、

家族にも「自立」を感じてもらえる場所となるよう意識する

(2) 「楽しく、生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

「自立」を感じてもらえる事で、グループホーム入居や一人暮らしに向けて、

わくわく<sup>でき</sup>出来るような場所<sup>ばしょ</sup>になってもらえる<sup>よう</sup>様に意識<sup>いしき</sup>する

⇒ 継続<sup>けいぞくりよう</sup>利用<sup>かた</sup>している方<sup>たい</sup>に対して引き続き<sup>ひ</sup>支援<sup>つづ</sup>を行<sup>しえん</sup>っていましたが、コロナ<sup>おこな</sup>感染<sup>かんせん</sup>  
拡大<sup>かくだい</sup>により一時<sup>いちじ</sup>閉所<sup>へいしょ</sup>する事<sup>こと</sup>も度々<sup>たびたび</sup>あったので定期的<sup>ていきてき</sup>に利用<sup>りよう</sup>できない状<sup>じようきよう</sup>況<sup>きよう</sup>も  
ありました

#### 4、信頼<sup>しんらい</sup>関係<sup>かんけい</sup>(相互<sup>そうごり</sup>理解<sup>かい</sup>)の持<sup>も</sup>てる社会<sup>しゃかい</sup>に向<sup>む</sup>けた取<sup>と</sup>り組<sup>く</sup>み

(1) 関係<sup>かんけい</sup>機<sup>き</sup>関<sup>かん</sup>をはじ<sup>は</sup>め、様<sup>さま</sup>々<sup>ざま</sup>な機<sup>き</sup>関<sup>かん</sup>や人<sup>ひと</sup>との信<sup>しん</sup>頼<sup>らい</sup>関<sup>かん</sup>係<sup>けい</sup>(相<sup>そう</sup>互<sup>ご</sup>理<sup>り</sup>解<sup>かい</sup>)を深<sup>ふか</sup>める

不<sup>ふ</sup>特<sup>とく</sup>定<sup>てい</sup>の事<sup>じ</sup>業<sup>ぎよう</sup>所<sup>じよ</sup>等<sup>とう</sup>から<sup>り</sup>の利<sup>り</sup>用<sup>よう</sup>も多<sup>おほ</sup>いのでしっか<sup>し</sup>り<sup>と</sup>所<sup>しよ</sup>属<sup>ぞく</sup>先<sup>さき</sup>の機<sup>き</sup>関<sup>かん</sup>と連<sup>れん</sup>携<sup>けい</sup>が取<sup>と</sup>れ  
る様<sup>よう</sup>にコ<sup>こ</sup>ミュ<sup>ミュ</sup>ニ<sup>ニ</sup>ケ<sup>ケ</sup>ー<sup>ー</sup>シ<sup>シ</sup>ョ<sup>ョ</sup>ン<sup>ン</sup>を<sup>は</sup>図<sup>ず</sup>っ<sup>て</sup>い<sup>い</sup>く

(2) 「楽<sup>たの</sup>しく、生<sup>い</sup>き<sup>い</sup>生<sup>い</sup>き<sup>い</sup>と暮<sup>く</sup>ら<sup>ら</sup>せ<sup>せ</sup>る環<sup>かん</sup>境<sup>きやう</sup>」を模<sup>も</sup>索<sup>さく</sup>し切<sup>き</sup>り開<sup>ひら</sup>く

短<sup>たん</sup>期<sup>きに</sup>入<sup>い</sup>所<sup>じよ</sup>と<sup>い</sup>う限<sup>かぎ</sup>ら<sup>れ</sup>た空<sup>くう</sup>間<sup>かん</sup>でも、楽<sup>たの</sup>しく過<sup>す</sup>ご<sup>ご</sup>せ<sup>せ</sup>る事<sup>こと</sup>を提<sup>てい</sup>案<sup>あん</sup>して<sup>い</sup>く

⇒ 一<sup>いっ</sup>緒<sup>しょ</sup>に買<sup>か</sup>い物<sup>もの</sup>に<sup>い</sup>行<sup>い</sup>く<sup>く</sup>な<sup>な</sup>どコ<sup>こ</sup>ロ<sup>ろ</sup>ナ<sup>な</sup>前<sup>まえ</sup>の状<sup>じよう</sup>況<sup>きよう</sup>に少<sup>すこ</sup>し<sup>し</sup>づ<sup>づ</sup>つ戻<sup>もど</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>た

#### 5、健康<sup>けんこう</sup>に<sup>かん</sup>関<sup>と</sup>する取<sup>と</sup>り組<sup>く</sup>み

(1) 通<sup>つう</sup>所<sup>しよ</sup>先<sup>さき</sup>や家<sup>か</sup>庭<sup>てい</sup>と健<sup>けん</sup>康<sup>こう</sup>状<sup>じよう</sup>態<sup>たい</sup>の情<sup>じよう</sup>報<sup>ほう</sup>を共<sup>き</sup>有<sup>ゆう</sup>する

(2) 状<sup>じよう</sup>況<sup>きよう</sup>に<sup>お</sup>う<sup>う</sup>じ<sup>じ</sup>て服<sup>ふく</sup>薬<sup>やく</sup>支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>を<sup>す</sup>る

(3) 状<sup>じよう</sup>況<sup>きよう</sup>に<sup>お</sup>う<sup>う</sup>じ<sup>じ</sup>て通<sup>つう</sup>院<sup>いん</sup>支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>を<sup>お</sup>こ<sup>こな</sup>な

(4) 栄<sup>えい</sup>養<sup>よう</sup>バ<sup>バ</sup>ラ<sup>ラ</sup>ン<sup>ン</sup>ス<sup>ス</sup>の<sup>し</sup>よ<sup>よ</sup>く<sup>く</sup>じ<sup>じ</sup>の<sup>てい</sup>き<sup>き</sup>やう<sup>やう</sup>を<sup>てい</sup>き<sup>き</sup>する

⇒ 体<sup>たい</sup>調<sup>ちよう</sup>不<sup>ふ</sup>良<sup>りよう</sup>に<sup>な</sup>ら<sup>ら</sup>れ<sup>れ</sup>た方<sup>かた</sup>も<sup>り</sup>い<sup>い</sup>た<sup>た</sup>ので、利<sup>り</sup>用<sup>よう</sup>前<sup>まえ</sup>に<sup>つう</sup>所<sup>しよ</sup>先<sup>さき</sup>から<sup>ひ</sup>き<sup>き</sup>つ<sup>つ</sup>ぎ<sup>ぎ</sup>を<sup>し</sup>っ<sup>か</sup>り<sup>り</sup>  
する<sup>ひつ</sup>必<sup>ひつ</sup>要<sup>よう</sup>性<sup>せい</sup>を<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>た<sup>た</sup>め<sup>め</sup>て感<sup>かん</sup>じ<sup>じ</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>た

#### 6、SDGS<sup>と</sup>の取<sup>と</sup>り組<sup>く</sup>み

(1) 食<sup>しよ</sup>材<sup>ざい</sup>の検<sup>けん</sup>討<sup>とう</sup>、食<sup>しよ</sup>材<sup>ざい</sup>を<sup>む</sup>だ<sup>だ</sup>に<sup>し</sup>な<sup>ない</sup>

(2) 買<sup>か</sup>い物<sup>もの</sup>の<sup>さい</sup>際<sup>さい</sup>は<sup>い</sup>コ<sup>こ</sup>バ<sup>バ</sup>ック<sup>く</sup>の<sup>し</sup>し<sup>し</sup>ョ<sup>ョ</sup>ウ<sup>ウ</sup>

(3) 節<sup>せつ</sup>水<sup>すい</sup>、節<sup>せつ</sup>電<sup>でん</sup>

(4) リ<sup>り</sup>サ<sup>さ</sup>イ<sup>い</sup>ク<sup>く</sup>ル<sup>る</sup>、ゴ<sup>ご</sup>ミ<sup>み</sup>の<sup>ぶん</sup>べ<sup>べ</sup>つ<sup>つ</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>と<sup>さく</sup>げ<sup>げん</sup>

(5) バ<sup>ば</sup>イ<sup>い</sup>オ<sup>オ</sup>マ<sup>マ</sup>ス<sup>す</sup>ゴ<sup>ゴ</sup>ミ<sup>み</sup>袋<sup>ぶくろ</sup>の<sup>し</sup>し<sup>し</sup>ョ<sup>ョ</sup>ウ<sup>ウ</sup>

⇒ 意<sup>い</sup>し<sup>し</sup>き<sup>き</sup>して<sup>と</sup>取<sup>と</sup>り<sup>く</sup>組<sup>く</sup>み<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>た

# 2023年度 相談支援事業報告

## 【目的】

主体的な生活をささぐためのサービス利用調整を図る為、事業所間で支援方針のずれのない計画相談支援を行う。

## 【対象者】

障害福祉サービスまたは地域相談支援を利用する方々

## 【活動内容】

### 1、新型コロナウイルス、感染予防の徹底

面談、モニタリングは可能な限りZOOM等リモートで行う

⇒ 直接事業所に出向いての面談、モニタリングが増えました

### 2、生きづらさに(壁)に対するサポートの強化

(1)個別面談、モニタリングで各自の生きづらさに対する計画を作成して振り返る

(2)所属する事業所で作成している支援計画と方向性を揃えて、生きづらさに対する支援計画を深める

(3)本人、ご家族、職員がお互いの違いを認め合う事が出来る様な個別支援会議や面談を意識する

⇒ お互いの違いを認め合い、ご本人とご家族の生きづらさ(壁)を聴き、気持ちに寄り添いながら話し合いを深めました

(4)主体的に楽しく生き生きと暮らせる様に本人の希望を掘り下げる

⇒ 基本的に計画は各事業所と方向性は一緒になっています

### 3、充実した社会生活に向けた取り組み

(1)本人が求める「社会的労働」を見極め、実現に向けて活動する

本人が何を求めているのか、面談やモニタリングなどで意識していく

(2)本人が求める「生活」を見極め、実現に向け活動する

本人がどの様な生活を送っていきたいのか、面談やモニタリングなどで意識していく

### (3)「楽しく生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

各事業所と連携をして主体的に生き生きと暮らせる環境を模索していきながら、必要な社会資源を開拓、創出していける事を目指していく

⇒ 計画相談だけが福祉との繋がりの方は特に調整が必要な方々がいました

## 4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

### (1)関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める

信頼関係を深めるために自立支援協議会など様々な事業所と出会える場で積極的に意見交換を行う

### (2)「楽しく生き生きと暮らせる環境」を模索し切り開く

楽しく暮らせるために何が必要か？地域の社会資源をあらためて確認し必要なものをコーディネートしていく

⇒ 自立支援協議会相談部会などで情報交換を行いました

## 5、健康に関する取り組み

・所属事業所や家庭と健康状態の情報を共有する

・福祉機関につながっていない人や一人暮らしで利用する人などは、日頃の健康に関する状況に留意して、必要によっては通院付き添い等を行う

⇒ 感染拡大中は定期的に体調確認をしました

## 6、SDGSの取り組み

・事務に係る消耗品類の無駄をなくしていく

・リサイクル、ゴミの分別徹底と削減

・面談などで移動の際は公共交通機関を利用する

・節水、節電

⇒ 意識して取り組みました

# 2023年度 就労支援事業報告

## 【目的】

一人ひとりが社会人として、違いを認め合い、個々の状況に応じて、就労することを通し、楽しく生きがいの持てる人生に繋げていく。

## 【活動内容】

### 1、充実した社会生活に向けた取組

#### \*社員への対応

- ・本人の希望、意思、強みに注目して、ジョブマッチングを考えた就労支援をする
- ・状況に応じて、職場見学、体験実習、面接等に向けて取り組む

#### \*就労者への対応

- ・状況に応じて、訪問、電話、メール等での連絡を調整する
- ・本人の状況に応じて、柔軟に転職支援・生活支援をする
- ・就労者やご家族へ、かたるべ会のイベントや余暇等の情報を伝える

#### \*新規開拓、就労先との関わり

- ・既存の求人だけではなく、様々な情報から新しい仕事を探していく
  - ・就労先では現状の仕事だけではなく、新しい仕事の可能性も考えていく
- ⇒ 数名の方が一般企業への見学・実習・応募をした  
3名が一般就労し、3名が退職した

### 2、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取組

#### \*就労先との関わり

- ・職場訪問や連絡調整を行う
  - ・かたるべ会の行事(入社式、交流会等)のご案内をし、定期的に連絡をする
- ⇒ 必要に応じて職場訪問や連絡調整を行った

### 3、健康に関する取組

#### \*就労者への対応

- ・個々の状況に応じて対応する
- ⇒ 必要に応じて健康状態の確認を行った

せいしんてき ふあんてい かた しえん おこな  
精神的に不安定な方への支援を行った

## ねんど そうごりかいじぎょうけいかく 2023年度 相互理解事業計画

### もく てき 【目的】

カルチャーチェンジ指針を通して、一人ひとりの違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、誰もが楽しく生き生きとしている社会を実現する。

#### じしゆてき しゆたいてき しゃかいさんか む とりくみ \*自主的・主体的・社会参加に向けた取組

・ナチュラルファースト(かたるべ会の内部の当事者団体)が各事業所の枠を超えて活発に活動できるよう支援する

⇒ 定期的に各事業所の代表者で行われるミーティングを支援した

・当事者の皆さんが社会に向けて思いを発信できるよう支援する

・ピープルファーストの集まりに積極的に参加できるよう支援する

⇒ 1カ月に1回行われているピープルファースト横浜の定例会に希望者が参加できるよう支援した

10月にはピープルファースト全国大会、ピープルファースト集会「世界の仲間と語り合おう」への参加を支援した

### ○ピープルファースト

1973年にアメリカで始まった知的障害者の当事者団体で各国に広がっている。

「障害者である前に人間である」という思いから、様々な活動を行っている。

日本では毎年全国大会が開催されている。

## ねんど こうりゆうじぎょうほうこく 2023年度 交流事業報告

### もく てき 【目的】

カルチャーチェンジ指針を通して、一人ひとりの違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、誰もが楽しく生き生きとしている社会を実現する。

## 【活動内容】

### 1、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- ・カルチャーチェンジ指針を通して、認め合い、肯定する文化を伝える
- ・かたるべ会主催の交流会を年2～3回開催し、外部との相互理解を促進する
  - ⇒ 交流会は実施ができていない
  - ⇒ 交流会メンバーに下記のご案内をして、たくさんの方に参加していただいた
- ・6月29日(木) ひまわり工房 見学会のご案内
- ・10月29日(日)～11月4日(土)に開催された「川和アート展」のご案内
- ・3月31日(日)「かたるべ会入社式」のご案内
- ・演劇、講演、音楽等、対面とオンラインを活用し、地域や社会との交流を深める
  - ⇒ 町内会や地域ケアプラザなどの関りを通してイベントに参加した
- ・バンジョークラブの活動
  - バンジョークラスを開催し、一般の方も広く参加し、バンジョークラブのメンバーと音楽活動を通して交流を深めていく
  - ⇒ 秋に向けてバンジョークラブの活動を再開した
  - ⇒ 11月12日(日)「川和芸能文化祭」に参加し、地域との相互理解を深めた
- ・てつなぎつづき、神奈川県知的障害施設団体連合会に関わり、他法人との連携をしていき、交流を深めていく
  - ⇒ オンラインや対面の打ち合わせ、イベントなどで他法人と連携をした
  - ⇒ 「てつなぎまつり」や「サッカーイベント」に参加し、相互理解を深めた

### ○カルチャーチェンジ指針 ～否定される文化から、肯定する文化へ～

- (1)強みに注目し、弱みに注目しない
- (2)違いを認め合う(スキル、価値観、宗教…)
- (3)遊び心を取り入れ、楽しく、生き生きと
- (4)円滑なコミュニケーション(否定せず、肯定しあう)
- (5)挑戦！発見！新しい自分、そして社会！

# 2023年度 職員研修事業報告

## 【目的】

職員一人ひとりの支援の質を向上させ、基本理念実現に向けて、社会に貢献できる人材の育成。また、職員同士のコミュニケーションを深めることで、違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、一人ひとりが必要とされている職場を実現していく。

## 【活動内容】

### 1、「支援」の充実に向けた取り組み

#### \*新人職員対象

・採用後1ヶ月、新人職員研修で下記項目を実施する

#### 【座学】

基本理念、支援に当たっての留意事項、カルチャーチェンジ指針、愛に気付くコミュニケーション、内観、オープンダイアログ

障害者虐待防止法、差別解消法

⇒ 4月15日(土)…新人職員研修を対面で実施 10名参加

⇒ 12月 2日(土)…新人職員研修を対面で実施 6名参加

#### 【体験】

日中、グループホームの各事業所を訪問する

懇親を深めるため、若手職員との横浜日帰りツアーをする

⇒ 4月22日(土)…横浜日帰りバスツアーを実施 17名参加

・採用後1～2ヶ月、各事業所で所属長・エリアマネージャーにより実施する

法人規約・規定、法人ガイドライン、リスクマネジメント

(企画提案制度、服薬管理マニュアル、行方不明時対応、災害時行動)

GRIDY・どこキャビ、スカイプ・LINE・Zoom の使い方

障害の基礎知識、福祉施策

#### ・外部研修

初任者研修(障害者支援センター主催 5日間)、てんかん基礎講座

⇒ 障害者支援センター主催の研修…全5回 9名参加、対面研修のみ 7名参加

⇒ てんかん基礎講座…すべてオンライン受講 11名参加

・採用後随時、安全運転講習(日中活動職員対象)

個別に実施し、安全運転を意識していく

実施回数は個人の状況による

⇒ 各事業所で実施、継続して実施している場合もある

⇒ 5月-1名、6月-2名、8月-1名、10月-1名

### \*全職員対象

・職員全体研修(年2回)、各事業所(随時)

法人基本理念の認識、障害者への仕事・生活・余暇の支援をしていく上で、

違いを認め合い、相互理解を深め、信頼関係を築き、支援の質を高める

一人ひとりが大切な人たちであり、必要とされていると実感できる研修を行う

⇒ 6月、4年ぶりに対面の全体職員研修を実施

○日程… 6月24日(土) 9:00~17:40

○場所…うれしの、ひまわり工房 Zoom ○参加人数…83名

○テーマ…オープンダイアログ 自己紹介、辛かった経験と生きづらさ

⇒ 12月2日(土)に実施(午前は新人職員研修)

○日程…12月 2日(土)13:00~17:00

○場所…うれしの、ひまわり工房 Zoom ○参加人数…81名

○テーマ…楽しくなければ、かたるべ会じゃない

・救命講習(各事業所、各エリアで実施)

成人に対する心肺蘇生とAEDの使用方法を主体とした講習

→5月31日(水)新しいAED機器に変わったため、研修をした

## 2023年度 健康管理事業報告

### 【目的】

社員・入居者・職員を問わず、いつまでも身体・精神ともに充実した生活が送れるように健康面から様々なサポートを行う。

### 【活動内容】

#### 1 健康診断

・第1、第2、第3かたるべ社・ジャスミン・うれしの社員——年2回

- ⇒ 1回目 6月実施
- ⇒ 1回目 11月実施
- ・ GH入居者—— 年1回(各職場で対応)
- ・ 職員 日中活動・相談支援職員—— 年1回
  - ⇒ 11月実施
- ・ GH・短期入所職員—— 年2回(労働安全衛生規則による)
  - ⇒ 1回目 6月実施
  - ⇒ 1回目 11月実施
- ・ GHアルバイト・ドライバー職員
  - (本人と相談の上実施する)
- ・ 40歳以上の社員・職員に人間ドック
  - (以後5年ごとに1度、人間ドックを受診する)
- ・ 40歳以上の女性社員・職員に婦人科健診
  - (非常勤職員は週4日以上でかたるべ会を主体として勤務されている方)
- ※サイクリック:東京中央クリニック:神奈川予防医学協会
- ・ アフターフォローについて
  - 健診の結果を受けて再検査の案内および実施確認
  - 社員・入居者・ご家族・職員間で協力してアフターフォローに当たる

## 2 感染予防・衛生管理

- ・ 感染予防マニュアルに従い、衛生管理を徹底する
- ・ 来客者の管理、訪問先への感染予防策実施
- ・ インフルエンザ予防接種の実施(職員・社員)
- ・ インフルエンザ・ノロウイルス等の流行については、状況に応じて対応していく
  - (感染拡大を防ぐため、事業所間の連携を強化する)
- ・ 衛生管理の徹底—手洗い、うがいの励行、常時マスクの着用、
  - アルコール手指消毒
- ・ 各事業所における自己防衛のための情報収集及び準備、対応
- ・ 衛生管理に関する職員研修
  - 日中活動——食品管理衛生責任者講習 必要に応じて受ける
  - 食品に関する研修に参加(食品表示法等)

GH—<sup>しょくひんかんりえいせいせきにんしゃこうしゅう</sup>食品管理衛生責任者講習 <sup>がいぶけんしゅうひつす</sup>外部研修必須  
<sup>かんせいよぼう</sup>感染予防のために <sup>ないぶけんしゅう</sup>内部研修(事務局会議にて)

◎<sup>かんせんぼうし</sup>コロナウイルスの感染防止

- ・ <sup>よぼうせつしゅ</sup>コロナワクチン予防接種の<sup>じつし</sup>実施(職員・社員・その他)

⇒ <sup>がつじつし</sup>12月実施 <sup>けい</sup>計<sup>めい</sup>120名

- ・ <sup>しゅつぎんまえ</sup>リーバーによる<sup>ごご</sup>出勤前と<sup>けんおん</sup>午後の<sup>じつし</sup>検温を実施
- ・ <sup>こうげんけんさ</sup>抗原検査の<sup>てきぎじつし</sup>適宜実施、<sup>じつしゅうせい</sup>実習生への<sup>らいほうじぜんけんさじつし</sup>来訪事前検査実施
- ・ <sup>らいほうしゃ</sup>来訪者の<sup>かんり</sup>管理、<sup>ほうもんさき</sup>訪問先への<sup>かんせんよぼうさくじつし</sup>感染予防策実施
- ・ <sup>せつしよかんせん</sup>接触感染の<sup>よぼう</sup>予防

<sup>しゅししやうどく</sup>アルコールによる<sup>ていきてき</sup>手指消毒・<sup>しせつない</sup>定期的に<sup>ひと</sup>施設内の<sup>て</sup>人の<sup>ふ</sup>手が<sup>ばしよ</sup>触れる<sup>しやうどく</sup>場所の消毒

<sup>しよくじちゅう</sup>食事<sup>かいわ</sup>中の<sup>ひか</sup>会話を<sup>しよくじご</sup>控える、<sup>こうかん</sup>食事後に<sup>せいけつ</sup>マスクを<sup>たも</sup>交換・<sup>せいけつ</sup>清潔を保つ

<sup>くうき</sup>空気<sup>なが</sup>の流れを<sup>かんが</sup>考えた<sup>ていきてきかんき</sup>定期的換気<sup>じつし</sup>の実施

- ・ <sup>ほうじんないおよ</sup>法人内及び<sup>かていない</sup>家庭内での<sup>かんせん</sup>コロナウイルス感染

<sup>かい</sup>かたるべ<sup>りやうようきかん</sup>会ルールにて<sup>ざいたくきかん</sup>療養期間・<sup>てきやう</sup>在宅期間の<sup>てきやう</sup>摘要

<sup>のうこうせつしよくしやおよ</sup>濃厚接触者及び<sup>たいちやうふりやうしや</sup>体調不良者の<sup>けんさ</sup>PCR検査<sup>じつし</sup>の実施

<sup>にゅうきよしやかんせん</sup>ホーム入居者感染の場合 <sup>ばあい</sup>第2<sup>だい</sup>グリーンハイツを<sup>りやうようしせつ</sup>療養施設として<sup>かつよう</sup>活用する

⇒ <sup>しんがた</sup>新型コロナウイルス<sup>かんせんしんしやう</sup>感染症の<sup>るい</sup>5<sup>こうご</sup>類移行後、<sup>がつ</sup>6月に<sup>しやいん</sup>社員・<sup>にゅうきよしや</sup>入居者・<sup>しよくいん</sup>職員の<sup>かぞく</sup>家族の  
<sup>あいだ</sup>間で<sup>かんせん</sup>感染が<sup>ふ</sup>増え<sup>はじ</sup>始めた

<sup>がつ</sup>7月には<sup>しやいん</sup>社員・<sup>にゅうきよしや</sup>入居者・<sup>しよくいんほんにん</sup>職員本人へと<sup>かんせん</sup>感染が<sup>かくだい</sup>拡大し、<sup>がつ</sup>8月～<sup>がつまつごろ</sup>9月末頃まで<sup>かんせん</sup>感染  
<sup>かくだい</sup>拡大が<sup>つづ</sup>続いた

<sup>がつ</sup>8月～<sup>がつまつ</sup>9月末の<sup>かんせん</sup>感染の<sup>とくちやう</sup>特徴としては<sup>かんせんりよく</sup>感染力が<sup>ひじやう</sup>非常に<sup>つよ</sup>強いことと、<sup>かんせんけいろ</sup>感染経路が  
<sup>とくてい</sup>特定できない<sup>ふ</sup>ケースが増えたことがあげられる

<sup>あらた</sup>改めて<sup>かい</sup>かたるべ会としての<sup>かんせんよぼう</sup>感染予防の<sup>とく</sup>取り組みを<sup>しゅうちあんない</sup>周知案内するとともに、  
<sup>じぎやうしよかん</sup>事業所間で<sup>みつ</sup>密に<sup>れんけい</sup>連携しながら<sup>かんせんしやたいお</sup>感染者対応をおこなった

⇒ <sup>がつい</sup>10月以降<sup>こうしやうこうじやうたい</sup>小康状態が続いたが、<sup>づ</sup>3月に<sup>はい</sup>入り<sup>かんせん</sup>感染の<sup>さいかくだい</sup>再拡大が見られた

<sup>かんせんりよく</sup>感染力も<sup>か</sup>変わらず<sup>たいへんきやうりよく</sup>大変強力で、<sup>しやいん</sup>社員・<sup>にゅうきよしや</sup>入居者・<sup>かぞく</sup>ご家族・<sup>しよくいんいちが</sup>職員一丸となり

<sup>たいさく</sup>対策に<sup>ひつよう</sup>のぞむ必要があった

3 <sup>せいかつしゅうかんびやうよぼうとう</sup>生活習慣病予防等に関する<sup>かん</sup>相談

- ・ <sup>ひまん</sup>肥満・<sup>こうけつあつなど</sup>高血圧等、<sup>せいかつしゅうかんびやうよぼう</sup>生活習慣病予防に関する<sup>かん</sup>取組を<sup>とりくみ</sup>行う

- ・ <sup>ひまんたいさく</sup>肥満対策について(運動面・<sup>うんどうめん</sup>食事面サポート、<sup>しよくじめん</sup>関係機関連携)

- ・ 看護師による心身(ストレスなど)共に健康に関する相談
- ・ 井泉先生(嘱託医)星野先生(嘱託医)による健康相談 カウンセリング

#### 4 健康に関する取組・各事業所との連携を図る

- ・ 健康的な食事(昼食の献立等 栄養面を考える)
- ・ 健康的な運動(日常の体操の習慣化)
- ・ 在宅における健康推進の提案

## 2023年度 防火・防災事業報告

### 【目的】

災害は予知することができません。そのため様々な災害を想定した日々の備えと防火・防災のための訓練が大切です。社員・入居者及び職員の生命と身体の保全を図るため、感染対策を徹底しながら防火・防災活動に取り組んでいきます。

### 【活動内容】

#### 1. 防災・避難訓練の実施

◎社員・入居者・職員の災害時行動を明確にする

○防火・防災のための訓練・・・年2回実施(各事業所ごと)

※感染予防を徹底し、図上訓練などオンライン訓練も併用する

- ・1回目・・・地震時の防災避難と避難場所への経路確認・消火器使用訓練
- ・2回目・・・火災通報訓練・消火器使用訓練

⇒ 実施しました

○GH合同防災避難訓練・・・年1回実施(GH)

※感染予防を徹底した上で実施する

- ・地震を想定した避難訓練・避難場所への経路確認

⇒ 実施しました

○浸水害避難訓練・・・年1回実施(該当事業所ごと)

※感染予防を徹底し、図上訓練などオンライン訓練も併用する

- ・浸水害を想定した屋内避難訓練・避難場所への経路確認

⇒ 実施しました

ちいき ぼうさいくんれんとう さんか ずいじ  
○地域の防災訓練等への参加…随時

2. ぼうか ぼうさいせつび てんけんおよ びちくひん かんり  
防火・防災設備の点検及び備蓄品の管理

にっちゅうかつどうしせつ かくじぎょうしよ  
○日中活動施設(各事業所)

ぼうじんじしゅてんけん ねん かいじっし かんきょう へいよう  
・法人自主点検…年2回実施 (リモート環境も併用する)

しょうぼうしよ た い けんさ ようせい おう ずいじ  
・消防署の立ち入り検査…要請に応じ随時

しょうぼうせつびほうていてんけん ねん かいじっし かくしよかつしょうぼうしよ ねん かいいていしゅつ  
・消防設備法定点検…年2回実施 (各所轄消防署に年1回提出)

・ジャスミン…工藤建設による消防設備点検実施 年2回実施

⇒ 実施しました

かくじぎょうしよ  
○GH(各事業所)

ぼうじんじしゅてんけん ねん かいじっし かんきょう へいよう  
・法人自主点検…年2回実施 (リモート環境も併用する)

しょうぼうしよ た い けんさ ようせい おう ずいじ  
・消防署の立ち入り検査…要請に応じ随時

しょうぼうせつびほうていてんけん ねん かいじっし かくしよかつしょうぼうしよ ねん かいいていしゅつ  
・消防設備法定点検…年2回実施 (各所轄消防署に年1回提出)

⇒ 実施しました

にっちゅうかつどうしせつ きょうつう  
○日中活動施設・GH共通

ぼうさいようびちくひん きげん ないよう かくにん おこな てきせい もの じょうび  
・防災用備蓄品の期限や内容の確認を行い適正な物を常備する

さいがいじ じょうほうしゅうしゅう かんきょう じゅうでんよう じょうび  
・災害時の情報収集のためWi-Fi環境や充電用バッテリーを常備する

しょうひきげん ちか ひじょうしよく ひじょうよういんりょうすい きが  
・消費期限の近づいた非常食・非常用飲料水は、フードバンクへの寄付を  
おこなうなど廃棄以外の方法を検討する

3. その他

かくじぎょうしよ さいがいじ ぎょうむけいぞくけいかく さくてい  
○各事業所ごとの「災害時の業務継続計画」策定

こうぼう ぼうかかんりしやせつちとどけで しょうぼうけいかくさくせい しんすいがいひなんかくほ  
○ひまわり工房における防火管理者設置届出・消防計画作成・浸水害避難確保  
計画の作成

とどけで  
⇒届出をおこないました

さいがいじ たいさく しょくいんよう かぞくよう こうしん ずいじ  
○「災害時の対策マニュアル(職員用・ご家族用)」の更新(随時)

きんきゅうじ れんけい きんきゅうれんらくさき かくにん こうしん ずいじ  
○緊急時の連携と緊急連絡先の確認・更新(随時)

ぼうかかんりしや せつち しょうぼうけいかく さくせいていしゅつ ずいじ  
○防火管理者の設置・消防計画の作成提出(随時)

⇒法人事業所の防火管理者を一括管理できるよう進めています

よこはまししゅさい さいがいじ れんらくくねんさんか ずいじ  
○横浜市主催の災害時連絡訓練参加(随時)

ちいき ぼうかぼうさいかつどう れんけい  
○地域の防火防災活動との連携

しょうけんしゅうじっし くんれんへいよう  
○AED使用研修実施(オンライン訓練併用)

⇒従来型じゅうらいがたのAEDから新機種しんきしゆへの移行いこうを進めすすています

※新機種しんきしゆの特徴とくちよう：胸骨圧迫きようこつあつぱくじ時に、胸骨圧迫きようこつあつぱくのテンポと深さふかを

計測けいそくしリアルタイムで音声ガイダンスをおこないます

適切な胸骨圧迫てきせつ きようこつあつぱくをおこなうことで生存率せいぞんりつが2倍以上ばいいじように向上こうじようします

○ALSOK・まもるっく・GHみまもりサポートの使用しよう・検索けんさく研修けんしゅう実施じっし

○新設事業所しんせつじぎょうしょへの防犯カメラぼうはんの設置せっち(随時ずいじ)